

客観的覚醒テストのご協力をお願い。

先般ご案内の9月2日から9月8日にかけての医師の勤務実態調査にご協力いただきありがとうございました。

さて、厚生労働省においては、2024年に向けて現在進めている医師の働き方改革について、勤務医の方々の健康確保と医療安全の視点を踏まえ

- ・連続勤務時間規制や勤務間インターバル規制を実施するとともに、
- ・十分な睡眠時間を確保できていない医師を客観的な指標を用いて抽出し健康確保を行うなどの追加的な健康確保措置を検討しています。

については、その内容を検討するため、さらに調査にご協力いただきますようご案内申し上げます。

調査期間：令和元年9月17日（火）17:00～9月22日（日）24:00

調査回答：上記期間中に1回のみご回答をお願いします。

可能であれば9月20日（金）業務終了後の回答を推奨しておりますが、期間中にご協力いただければ、いずれの時間帯でも構いません。

調査内容：客観的覚醒度テスト（所要時間10分程度）

- ①客観的な覚醒度検査 PVT に関連する質問（ウェブ調査）（約5分）
- ②ウェブ版客観的覚醒度検査（PVT-B）（練習1分+本テスト3分）

※ウェブ版客観的覚醒度検査は、米国・ペンシルバニア大学が管理するウェブ検査センターで実施するため、Adobe Flash Player がインストールされている PC を使用する必要があります。インストールされていない場合は、<https://get.adobe.com/jp/flashplayer/> から Adobe Flash Player をインストールしてください。

なお、タブレット等での回答はできないため使用する機器は、ラップトップ PC 又はデスクトップ PC（USB で接続したキーボード）を使用してください。

回答方法：

<今回初めてオンライン回答ページに接続される方>

回答ページ URL：<https://www.hatarakikata2019.jp/>

・上記回答ページの URL にアクセスいただき調査用 ID を取得の上、調査トップページの中段にある

「客観的覚醒度テスト」から調査に回答をお願いします。

<既に医師の勤務実態調査にオンライン回答された方>

・オンライン回答の ID 取得の際に、医師の働き方調査 <info_mail@hatarakikata2019.jp> から送信された

受付完了メールの URL リンクから調査トップページにログインいただき、トップページ中段にある

「客観的覚醒度テスト」のボタンから、客観的な覚醒度検査 PVT に関連する質問と客観的覚醒度検査(PVT-B)

の実施をお願いします。(受付完了メールを破棄されたなどログイン URL が不明の方は上記の<今回初めて

オンライン回答ページに接続される方>と同様の方法でご回答ください。)

お忙しいところ恐れ入りますが、ぜひご協力いただきますようご案内申し上げます。

【客観的覚醒度検査 (PVT-B) について】

・この検査では、参加者の慢性的な睡眠不足などに由来する疲労あるいは眠気・覚醒度を主観的かつ客観的に評価します。

客観的な評価には、NASA (米国航空宇宙局) で宇宙飛行士の集中力覚醒度を測定するために活用されている覚醒テスト

Psychomotor Vigilance Test(PVT)とよばれるタスクを用い、客観的な睡眠不足によるパフォーマンスの低下を検出します。

研究班*は、このほか CES-D (自記式のうつ心の心理検査) などの客観的な覚醒度検査 PVT に関連する質問をあわせて行うことで、

医師の長期の睡眠不足などによる疲労度等を客観的に明らかにし、長時間働く医師の健康確保措置の一助にしていきたいと

考えております。

*厚生労働行政推進調査事業費補助金政策科学推進研究事業

医師の専門性を考慮した勤務実態を踏まえた需給等に関する研究 (研究分担者 谷川武)

【お問い合わせ先】

厚生労働行政推進調査事業

医師の勤務実態把握調査事業 調査事務局

0120-5516-112 (平日10:00~17:00, 令和元年9月30日まで)